

2021年度 企業支援および地域振興の取り組み

～地域密着型金融の取り組み結果～

2022年5月



当金庫は、『地域の皆さまと共に豊かな未来を創造します』という経営理念のもと、地域や企業の価値を高めるお手伝いによる「価値創造型金融」を進め、地域の皆さまの課題やニーズに積極的にお応えします。
また、信用金庫の持つ社会的責任と公共的使命を自覚し、「相互扶助」「共存共栄」の精神で「地域密着型金融の推進」に取り組んでまいります。

当金庫の取り組みの一部についてご紹介しますので、本資料を通じてご理解いただければと思います。



2021年度の取組実績

<地域密着型金融に係る年度目標と実績>

目標項目	目標件数	実績
①課題の把握・分析による経営相談(「みらい創造サポート」)	70件	57件
②事業者との対話を通じた企業価値評価(経営サポート強化支援)	7件	7件
③専門家派遣制度の活用	10件	11件
④公的施策の活用、外部支援機関連携支援	30件	23件
⑤事業承継・相続等の相談受付	120件	87件
⑥商談会・ビジネスフェアなどによるビジネスチャンスの創出	3回	1回
⑦自治体・経済界との「金融懇談会」の実施	2回	0回
⑧地域企業の人財育成支援	8件	5件
⑨産学官金連携事業の活用	10回	7回

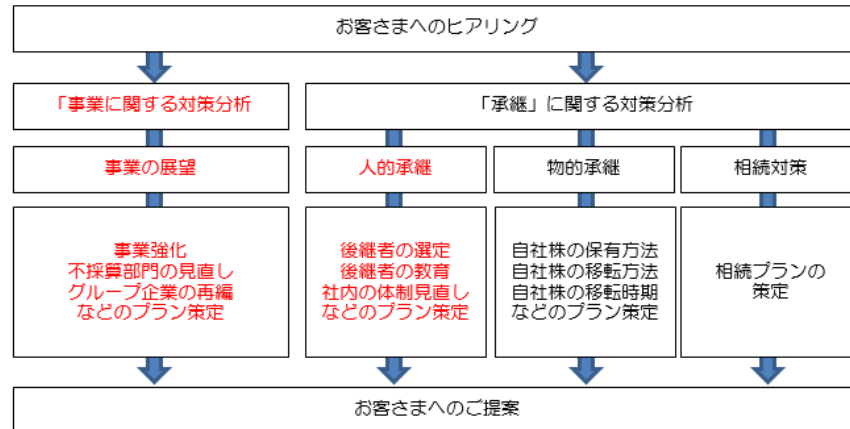
コンサルティング機能の発揮

多様化するお客様ニーズへの対応取組 ～プレミアムサポートセンター～

多様化するお客さまお一人おひとりのニーズにお応えする「One to Oneマーケティング」による総合的な提案力強化にむけて、事業者の最大の課題である事業承継と個人のお客さまの大切な資産の運用・管理等に関する相談に対応する専門部署として「プレミアムサポートセンター」を平成27年より設置しております。

	2019年度	2020年度	2021年度
事業承継相談	19先	36先	23先
相続相談	102先	88先	64先

「自社株を誰に引き継ぐか(所有承継)」だけではなく、「**後継者教育をどう行うか(後継者教育)**」も重要です。当金庫は、後継者育成プランの策定・実行、後継者や経営を支える社内人材の成長支援、事業を強化し持続可能性を高めるお手伝いなどトータルに事業承継をサポートします。



※ 遺言の重要性・必要性について引続き情報提供いたします。

※令和3年11月1日から本店、札幌支店において「家族信託」の取り扱いを開始しております。

※「遺言信託・自社株承継信託・遺産整理業務」は、本店・中標津支店・釧路支店・鳥取西支店・札幌支店の5店舗にて取扱い。

※しんきん相続信託「こころのボタン」、しんきん暦年信託「こころのリボン」は全店舗で取扱いしております。

■ コンサルティング機能の発揮

札幌オフィスの活動 ～根室・釧路地域と札幌圏との架け橋～

自治体間・企業間連携体制の構築に向けて根室・釧路地域の魅力・資源・可能性を札幌圏や他地域の人々・企業に伝え、交流活性化のサポートに力を込めています。

北海道大学や各種機関とのコーディネート

北海道大学と民間 との連携サポート

北海道大学は道内の農林水産業を強靱化するための研究(ロバスト研究拠点)を進めており、当庫は北大と連携し、地域の関係団体、企業・事業者へ当該研究成果を繋げる役割を担っています。

事業創造・企業 価値創造サポート

特許庁、日本弁理士会、北海道発明協会等と連携し、中小企業・事業者において知的財産権の活用を図るための取組みをしています。中小企業等が有する特許等の財産的価値を専門家による評価分析を行い今後の企業経営戦略の作成支援をしています。

地域の面的再生への積極的参画

KONSEN(根釧)魅力創造ネットワークの取り組み

北海道の「根室」「釧路」にある優れた「食」資源・「地域」資源を全国、海外に発信し、地域の魅力を多くの皆さまに知っていただき、地域の活性化、産業の発展につなげることを目的に、企業、自治体、大学、支援機関がそれぞれの垣根を越えて連携して取り組む組織として平成24年12月に設立しました。

会員数:食関連事業者36先、観光関連事業者15先、支援機関17先 合計68先



過去のFOODEX JAPAN出展の様子
(2020・2021年度は新型コロナウイルス感染拡大のため未出展)

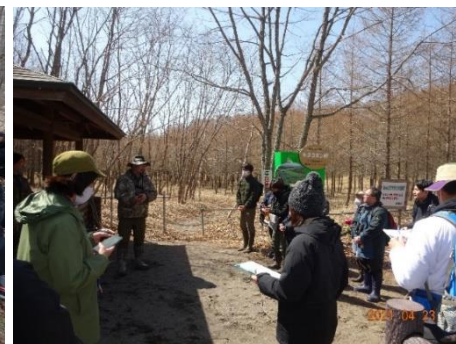
地域の面的発信への積極的参画

観光分野へのアプローチ①

地域活性化推進事業(地域観光支援)

春季アウトドアガイドセミナー・フィールドワーク

新型コロナウイルス感染症終息の兆しが見えず、国内外の移動自粛が強いられ、観光業界は大きな打撃を受けています。しかし、根釧地域はアドベンチャートラベルに適した地域であり、アフターコロナではいち早くインバウンド、国内旅行の回復が期待されます。今回のアウトドアガイドセミナーでは、北海道認定アウトドアマスターガイドの安藤 誠氏を講師に迎え、「ネイチャーガイドの世界」、「ガイドと地域の関わり方」をテーマに、セミナーとフィールドワークを2日間にわたって実施しました。1日目のフィールドワークでは、プロガイドとして自然の理解だけではなくクライアントのニーズを察知することの大切さや、海外の“本物”を求める富裕層のニーズに応え“稼げるガイド”になるための心構えや行動について、セミナーでは、地域の行政・消防との連携や飲食店との関わり方等を講演いただきました。2日目は、はじめに自然を守るための振る舞いや服装についてレクチャーを受けた後、特別保護区のキラコタン岬でフィールドワークが開始となりました。一步一步進むごとに新しい発見があり、安藤氏の自然を敬う姿勢と豊富な知識量に、参加者の皆さんは深く感銘を受けたようでした。アンケートでは「生の現場でのガイディングと話の広げ方がとても参考になった」、「ガイドの本質を体験できた」といった感想をいただきました。



- 講演者 安藤 誠氏（北海道認定アウトドアマスターガイド
ウィルダネスロッジ・ヒッコリーウインド代表）
- 日 時 令和3年4月22日(木)
【フィールドワークⅠ】 13:00～16:30
【セミナー】 19:00～21:00
令和3年4月23日(金)
【フィールドワークⅡ】 9:30～12:00
【セミナー】 ウィルダネスロッジ・ヒッコリーウインド
- 場 所 【フィールドワーク】 ヒッコリーの森・キラコタン岬
- 主 催 大地みらい信用金庫、一般財団法人 大地みらい基金
- 共 催 ウィルダネスロッジ・ヒッコリーウインド
KONSEN（根釧）魅力創造ネットワーク
- 参加者 25名

地域の面的発信への積極的参画

観光分野へのアプローチ②

地域活性化推進事業(地域観光支援)

冬季アウトドアガイドセミナー・フィールドワーク

北海道はアドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット(ATWS)の再招致を行い2023年9月に北海道で開催が決定しています。北海道はアドベンチャー・トラベル(AT)が求める多様性のある自然が豊富で、とりわけ根室・釧路には「本物」を間近に見ることができるコンテンツが数多くあり、ATの聖地となり得る地域です。今回のアウトドアガイドセミナー・フィールドワークは北海道認定アウトドア・マスターガイド安藤 誠氏を講師に迎えて開催しました。1日目の釧路湿原特別保護区キラコタン岬でのフィールドワークでは、鳥を捉える双眼鏡の操作を学びバードウォッチングに臨みました。セミナーでは「国内外の個人へのガイドツアー」・「事業のスタート」をテーマに講演いただきました。2日目のフィールドワークでは鶴居村音羽橋を臨むスポットで、ガイドとしてのアテンドの基本を教わった後、鶴居村に残るミズナラの巨木を観察しながらネイチャーガイドの留意点を学びました。安藤氏の自然を敬う姿勢と豊富な知識量に参加者は深い感銘を受けたようでした。アンケートでは「お客さまに“感動”を持ち帰っていただくことの大切さを学びました」、「本物を知り、貴重な体験ができました」といった感想をいただきました。



- 講演者 安藤 誠氏(北海道認定アウトドアマスターガイド
ウィルダネスロッジ・ヒッコリーウインド代表)
- 日 時 令和3年12月4日(土)
【フィールドワークⅠ】 10:00~16:00
【セミナー】 19:00~21:00
令和3年12月5日(日)
【早朝フィールドワーク】 6:30~7:30
【フィールドワークⅡ】 9:30~12:00
- 場 所 【セミナー】 ウィルダネスロッジ・ヒッコリーウインド
【フィールドワーク】 キラコタン岬・鶴居村私有地
- 主 催 大地みらい信用金庫、一般財団法人 大地みらい基金
- 共 催 ウィルダネスロッジ・ヒッコリーウインド
KONSEN(根釧)魅力創造ネットワーク
- 参加者 18名

地域の面的再生への積極的参画

大学との連携による地域人財育成事業および地域貢献事業



根室・釧路
地域の学生

大学の高度な研究を知る・
体感する・考える機会の創出
による学びの機会の提供

地域住民
医療関係者



最新の医療情報などの知見や、
医科大学生の地域医療への
関心を高める場の提供

北海道大学

持続可能な
地域の実現

札幌医科大学

研究シーズと市場ニーズの
マッチング、人材育成など
にむけた包括連携協定

大地みらい
信用金庫

保険・医療・福祉の向上に
よる地域社会の発展に
むけた包括連携協定

地域の面的再生への積極的参画

札幌医科大学との連携協定事業

大地みらい移動医科大学 ～地域医療のみらいに向けて～

札幌医科大学と大地みらい信用金庫は、北海道および地域の保健・福祉・医療の向上に資することを目的に、包括連携事業として「大地みらい移動医科大学～地域医療のみらいに向けて～」と題し、札幌医科大学が持つ最新の医療情報、知見等を根釧地域の医療・介護関係者に提供、共有する取組みを行っております。

7回目となる大地みらい移動医科大学では、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮し、昨年同様、オンラインによるリアルタイム配信形式とし、根釧地域の医療・介護関係者から約50名の申込をいただきました。テーマは『COVID-19対策から感じた今後の教訓について』とし、昨年も講師を引き受けて下さった札幌医科大学講師の上村先生にご講演をいただきました。札幌市における新型コロナウイルス感染症の一連の対応から得られた教訓を、最前線の医療現場の目線から具体的に解説いただき、参加者にとっては「札幌モデル」に学ぶことも多かったようです。

- 講演者 上村 修二 氏
札幌医科大学 救急医学講座（高度救命救急センター）講師
- テーマ 「COVID-19対策から感じた今後の教訓について」
- 日時 令和3年10月23日(土) 15:00～16:30
- 主催 札幌医科大学 大地みらい信用金庫 一財）大地みらい基金
- 後援 釧路市 根室市 一社）釧路市医師会 一社）根室市外三郡医師会
一社）釧路歯科医師会 一社）釧路薬剤師会 一社）北海道薬剤師会
根室支部 公社）北海道看護協会 釧路支部・根室支部
- 視聴参加 約50名
- 77° リケーション ZOOM



地域の面的再生への積極的参画

札幌医科大学との連携協定事業

令和3年度メディカル・カフェ

当金庫と札幌医科大学との連携協定事業として、メディカル・カフェを別海町役場にて開催し、約30名の別海町住民の方々にご参加いただきました。ゲストに札幌医科大学 整形外科学講座 准教授の射場 浩介氏をお招きし、『骨粗しょう症と健康寿命』をテーマに講演いただきました。

「メディカル・カフェ」とは、地域の医療と健康の向上を目的に、住民の皆様との対話・交流を通じて難解な医療・健康情報の理解を深めていただく住民参加型のイベントです。

今回は、新型コロナウイルス感染症のリスクを考慮し、札幌医科大学と別海町役場会議室、当金庫本部をWEBで繋ぐ非対面形式で開催をいただいた後、学生と会場参加者の間で質問や〇×クイズを通じた交流がありました。要支援・要介護になった原因の第1位が骨折等の運動器疾患（24.6%）であること、そのため健康寿命を延ばすためには運動器の健康が重要であることをお話いただきました。参加者の皆様からは「〇×クイズのおかげで内容が頭によく残った」「身近な話題で理解しやすかった」などの感想をいただきました。

- 講演者 射場 浩介 氏
(札幌医科大学 整形外科学講座 准教授)
- 日 時 令和3年12月10日(金)
(15:30~17:00)
- 場 所 別海町役場 大会議室
- 主 催 札幌医科大学、大地みらい信用金庫、
一般財団法人 大地みらい基金



地域の面的再生への積極的参画

北海道大学・地域協働推進機構との連携協定事業

■ 北海道大学特別出前講座 ■

当金庫と北海道大学産学・地域協働推進機構との連携事業の一環として、地域の人材育成を目的に高校生を対象とした「北海道大学特別出前教室」を開催しています。

11回目の開催となった今回は、白糠高校1、2年生約40人を対象に、5、6時限目の2コマを利用し同校の視聴覚室で開催しました。講師は北海道大学大学院工学研究院 教授の石井 一英 氏で、「みんなで考える地域のSDGs」をテーマに授業を実施。1コマ目は、世界人口の増加や気候変動等の社会問題から、食料、森林、水産資源の危機的状況、養殖事業への期待についてお話しいただいたうえで、SDGsの17の目標に当てはめながら自分たちの行動を見直すグループディスカッションを行いました。2コマ目では、バイオガスをエネルギー源とする循環型社会について具体例を交え解説いただいたあと、まとめのグループディスカッションでSDGsの観点から自分たちの住むまちをよりよくするためのプロジェクトを各チーム発表しました。終わりに、石井教授から「少しでもこの地域の人のためになることを考えて欲しい」とのお言葉をいただきました。

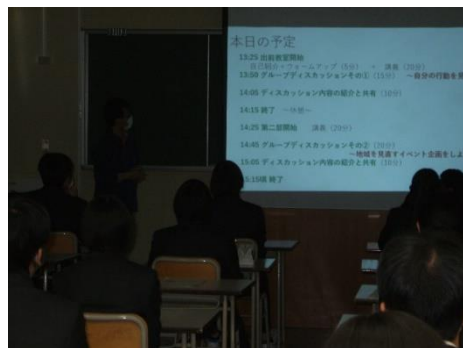
■ 講演者 北海道大学大学院工学研究院 教授 石井 一英 氏

■ テーマ「みんなで考える地域のSDGs」

■ 日 時 令和4年3月10日（木） 13：30～15：20

■ 場 所 白糠高校 視聴覚室

■ 共 催 北海道大学産学・地域協働推進機構 大地みらい信用金庫 一般財団法人 大地みらい基金



新たな産業創出・地域の人財育成支援への参画

NoMaps釧路・根室への参画

2016年から札幌で開催されているNoMaps（実行委員長 伊藤博之 クリプトン・フューチャー・メディア㈱代表）と連携し、当地域の基幹産業である水産業、酪農業、そして観光業とIT・IoT・AI等の情報技術と融合させることで、新たな産業の創出や地域で活躍する人材を育成することを基本テーマに、2019年からNoMaps釧路・根室を開催しています。

第3回目となる今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から会場開催は見合わせ、「このような時だからこそ、地域の価値向上のために力強く発信していくことが重要」というNoMaps釧路・根室2021実行委員会（実行委員長 中島 秀幸）の総意のもと、オンラインを活用した方法で、NoMaps釧路・根室2021を開催しました。

いま考える、このまちのこと。

NoMaps 釧路・根室 2021

2021.11/9・10
オンライン開催

参加無料 参加申込は

- カンファレンス
- 高校生ビジネスコンペティション
- アフターミーティング

参加申込先

NoMaps 釧路・根室 実行委員会 事務局

〒040-0201 釧路市南一条 1-1-1 NoMaps 釧路・根室 事務局

TEL 0155-221-1111 FAX 0155-221-1112

HP www.nomaps-kushiro.com E-MAIL nomaps@kushiro.com

いま考える、このまちのこと。

高校生 ビジネス コンペティション

NoMaps 釧路・根室 2021

親子プログラミング
無料体験教室

NoMaps 釧路・根室 2021

対象学年 小4～6

受講生募集中！（大人と2人1組）

①算数をプログラミングで楽しく学ぼう！
「小学校プログラミング教育の手引き（文部科学省）」に基づいて多角形の性質を学びます

②身近な暮らしの「困った」をプログラミングで解決してみよう！
システムエンジニアになりきって、身近なパン屋さんの「困った」を解決します

10月2日(土)

午前部 9:30～12:00
午後部 13:30～16:00

会場 釧路市立春採中学校 コンピュータ室

お申し込みは要領をダウンロードください。

お申し込み先 NoMaps 釧路・根室 事務局

TEL 0155-221-1111 FAX 0155-221-1112

HP www.nomaps-kushiro.com E-MAIL nomaps@kushiro.com

NoMaps(ノーマップス)の名前の由来

アメリカのSF作家、ウィリアム・ギブスンを追った同名のドキュメンタリー映画にちなんで命名。「地図なき領域を開拓する」という願いを込めている。



NoMaps 釧路・根室 2021 カンファレンス 01

「根釧地域における養殖事業の可能性」

現在、国内ではサーモンをはじめとした養殖事業への取り組みが盛んに行われています。根室・釧路地域はこれまで地理的条件等から養殖に不向きだと言われていましたが、近年、サケ・マス、サンマ等水揚げ減少が続く中、当地域においても養殖事業の可能性を検討する必要性に迫られています。当カンファレンスでは、国内での養殖事情を踏まえ、養殖の研究や事業に携わられている方々にディスカッションを行っていただきました。

〈パネラー〉

はこだて未来大学 教授 和田 雅昭 氏
水産研究・教育機構 博士 黒川 忠英 氏
根室市水産研究所 所長 工藤 良二 氏
丸紅株式会社 エレクトロニクス担当課長 高原 大樹 氏
株式会社ウィルステージ 代表取締役 大谷 洋士 氏

〈モデレーター〉

北海道大学大学院 水産科学研究院 教授 都木 靖彰 氏

NoMaps 釧路・根室 2021
11/9 13:30-14:30
オンライン配信
カンファレンス 01
**根釧地域における
養殖事業の可能性**

モデレーター	パネラー
北海道大学大学院 水産科学研究院 教授 都木 靖彰	はこだて未来大学 教授 和田 雅昭
	水産研究・教育機構 博士 黒川 忠英
	根室市水産研究所 所長 工藤 良二
	丸紅株式会社 エレクトロニクス担当課長 高原 大樹
	株式会社ウィルステージ 代表取締役 大谷 洋士

カンファレンス 02

「AIは中小企業の力になれるか」

IT の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる。いわゆるDX（デジタルトランスフォーメーション）を地域の中小企業がどのように取り込み、いかに活用すれば良いのか。当カンファレンスでは、一線で活躍されている専門家と具体的な成果につなげている地元の経営者、エンジニアからその課題と展望をうかがいました。

〈パネラー〉

株式会社調和技研 代表取締役 中村 拓哉 氏
株式会社ニッコー 代表取締役 佐藤 一雄 氏
RHEMS 技術研究室
インフラエンジニア/Fab946マネージャー 市川 靖展 氏
株式会社MeeTasu 機械学習エンジニア 田森 湧斗 氏

〈モデレーター〉

北海道大学大学院 情報科学研究院 教授 川村 秀憲 氏

NoMaps 釧路・根室 2021
11/9 15:00-16:00
オンライン配信
カンファレンス 02
**AIは中小企業の
力になれるか**

モデレーター	パネラー
北海道大学大学院 情報科学研究院 教授 川村 秀憲	株式会社調和技研 代表取締役 中村 拓哉
	株式会社ニッコー 代表取締役 佐藤 一雄
	株式会社RHEMS Japan インフラエンジニア / Fab946マネージャー 市川 靖展
	株式会社MeeTasu 機械学習エンジニア 田森 湧斗

No Maps 釧路・根室 2021 カンファレンス 03

「駅前の魅力を探せ！大学生による駅前活性化の取組」

かつて釧路市の中心街だった駅前・北大通り地区がシャッター街となる中、駅高架構想をきっかけに地区再生を目指した市民レベルでのまちづくり活動が行われてきています。当カンファレンスでは、地元の大学生が取り組んでいる内容を紹介していただき、大学生の視点でこれからの地域活性化を考えました。

〈パネラー〉

北海道教育大学釧路校 地域文化研究室3年 吉田 清香 氏
釧路公立大学3年 神野ゼミ 佐藤 直喜 氏 高坂 祐人 氏
東島 峻 氏 宇佐 悠希 氏
釧路公立大学3年 手塚 亜佑 氏
釧路公立大学1年 松原 正道 氏
釧路市都市整備部都心まちづくり推進室 主任 山下 展 氏

〈モデレーター〉

RINK釧路まちづくりラボ 相原 真樹 氏

カンファレンス 04

「釧路地域と北大の連携による新たなプロジェクトの創出」

かつて全盛期の釧路を支えた三大産業「石炭・紙パルプ・水産」が今日低迷する中、改めて地域資源を見直し、北海道大学との連携による当地域での新たなプロジェクトの創出に向けてディスカッションを行い、新たな発想による地域エネルギーの循環・活用、カーボンニュートラルな食料生産の可能性を探っていただきました。

〈パネラー〉

釧路市長 蝦名 大也 氏
株式会社三ツ輪商会 専務取締役 志賀 功 氏

〈モデレーター〉

北海道大学ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点 代表 教授 石井 一英 氏

NoMaps 釧路・根室 2021

11/10 10:10-11:10
VEN ONLINE 配信

カンファレンス 04

釧路地域と北大の 連携による新たな プロジェクトの創出



モデレーター

北海道大学ロバスト農林水産工学
国際連携研究教育拠点 代表 教授
石井 一英

パネラー

釧路市長

蝦名 大也

釧路商工会議所 創設地域水産エネルギー研究会長
株式会社三ツ輪商会 専務取締役
志賀 功

NoMaps 釧路・根室 2021 カンファレンス 05

「道東のワーケーションは可能性がいっぱい！」

～滞在が仕事と生活にもたらす好循環～

『働きながら休暇をとる』という過ごし方として注目されている『ワーケーション』。コロナ禍の影響により、都会から自然豊かな地域へ移動してのワーケーションという事例も見受けられる中、日本屈指の自然の豊かさを誇る道東地域は、まさにワーケーションにうってつけの場所とも言えるはずです。当カンファレンスでは、そんな道東地域のワーケーションの可能性について探っていただきました。

＜パネラー＞

株式会社ジョイゾー 取締役COO 四宮 琴絵 氏

株式会社KabuK Style Co-CEO 大瀬良 亮 氏

＜モデレーター＞

クリプトン・フューチャー・メディア株式会社
ローカルチームマネージャー 服部 亮太 氏

NoMaps 釧路・根室 2021

11/10 11:30 - 12:30
WEB オンライン配信

カンファレンス 05

道東地域の
ワーケーションは
可能性がいっぱい！

～滞在が仕事と生活に
もたらす好循環～

モデレーター

クリプトン・フューチャー・メディア株式会社
ローカルチームマネージャー
服部 亮太

パネラー

株式会社KabuK Style Co-CEO
HafH 代表
大瀬良 亮

株式会社ジョイゾー
取締役COO
四宮 琴絵

NoMaps 釧路・根室 2021

11/10 13:00 - 14:00
WEB オンライン配信

カンファレンス 06

釧路地域は
アドベンチャー・トラベルの
聖地となる？

モデレーター

株式会社北海道宝島旅行社
代表取締役
鈴木 宏一郎

パネラー

国土交通省北海道運輸局
観光部 部長
水口 猛

ウィルダネスロッジ・
ヒッコリーウィンド 代表
安藤 誠

株式会社厚岸味覚ターミナル・
コンキリエ 取締役支配人
加藤 裕之

カンファレンス 06

「釧路地域はアドベンチャー・トラベルの聖地となる？」

アフターコロナ、ATWS（アドベンチャー・トラベル・ワールドサミット）2023北海道を見据えて、釧路・根室地域がAT（アドベンチャー・トラベル）の聖地に成りうるための必要条件は何でしょうか。当カンファレンスではバーチャル開催されたATWS2021北海道を振り返り、あらためてインバウンドを呼び込むにあたっての課題を整理し、強みをブランドに繋げるため、今地域は何をすべきかをディスカッションしていただきました。

＜パネラー＞

国土交通省北海道運輸局観光部 部長 水口 猛 氏
ウィルダネスロッジ・ヒッコリーウィンド 代表 安藤 誠 氏
株式会社厚岸味覚ターミナル・コンキリエ
取締役支配人 加藤 裕之 氏

＜モデレーター＞

株式会社北海道宝島旅行社 代表取締役 鈴木 宏一郎 氏

No Maps 釧路・根室2021 高校生ビジネスコンペティション

釧路・根室管内の高校生がアントレプレナーシップ（起業家精神）を学び、将来のふるさとへ熱い思いを持ちながら、地域の産業振興、活性化に資するビジネスプランを創造する機会を通じ、地域の人材育成を図ることを目的とする事業で、第3回目を開催いたしました。前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大状況を考慮し会場開催を止め、事前にプレゼン資料を提出いただき審査を実施。審査発表・表彰式をオンラインにて開催しました。

■日時 2021年11月10日（水） 15:30～17:00
■会場 釧路プリンスホテル2階 鶴の間よりオンライン配信

<参加高校>
釧路商業高校 1チーム 4名
白糠高校 2チーム 6名
別海高校 1チーム 11名
釧路明輝高校 5チーム 18名
標茶高校 7チーム 24名
根室高校 2チーム 9名
釧路湖陵高校 2チーム 8名



最優秀賞に輝いたのは、別海高校のチーム「お菓子が町（世界）づくり（テーマ名・同）」です。表彰式当日は、実行委員のスタッフが生徒に気づかれないように別海高校を訪問し、札幌からリモートで参加していた伊藤審査員長が表彰状を読み上げた後に教室へ突入して直接賞状を渡すというサプライズを実行。当チームには、釧路特産品の「ふき紙」を使用した賞状と、賞品として「クリプトン・フューチャー・メディア（株）見学ツアー」が贈られましたが、新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮した結果、ツアーを中止し得地ファニチャ工業（株）製作の木製フォトフレームを贈呈しました。



賞	チーム	プラン概要
最優秀賞	お菓子が町（世界）づくり （別海高校）	町を代表するお菓子を開発し、ふるさと納税返礼品等で販売
優秀賞	食品ゼミ鹿班 （標茶高校） ふあん （釧路湖陵高校）	害獣として駆除したエゾシカを活用した商品（食品・革製品）の開発 日本製紙工場跡の利活用（再生エネルギー、データセンター等）
審査員特別賞	SAANY （釧路商業高校）	子ども自身が絵を描く自分だけのオリジナル絵本の制作・販売
	釧路フォーラム22 （釧路明輝高校）	都市整備による防災に強い街づくり
	牛乳班 （標茶高校）	標茶町産牛乳を使った牛乳ラーメンによるまちおこし
	市街地の構造改革 （釧路湖陵高校）	廃ビル・空き店舗利用と交通網の整理・改革による市中心部の活性化
アイデア賞	釧路食品隊 （釧路明輝高校）	食品ロス減少に向けた余剰食材の地域内活用
	2年4組5班 （釧路明輝高校） 芳澤金融機関 （白糠高校）	高校生からシニアまで幅広い世代でサポートする子育てしやすい街づくり 白糠町を舞台としたVRサバイバルゲームの開発

No Maps 釧路・根室2021

北海道大学物質科学フロンティアを開拓するAmbitiousリーダー育成プログラム

・企業コンソーシアム発表会

北海道大学では例年、異分野融合型大学院教育「リーディングプログラム」に所属する博士課程大学院生が、互いの専門分野の知力をチームとして融合し、社会や産業界に潜む課題に対して新たな価値を創造する提案が行われています。その研究シーズについて、No Maps 釧路・根室と連携することにより新たな価値を生むことが期待され、昨年度より共催という形でオンライン開催しております。

今年度については【道東エリアを活気づける、先端技術を利用した次世代観光プランの提案～バイオマス発電、自動運転電気自動車でめぐる「映え」ポイント～】をテーマに開催いたしました。発表会当日は、5名のプロジェクトメンバーより、釧路・根室地方の観光業や産業の活性化を目指し、地産のバイオマス発電エネルギーを用いた自動運転電気自動車の活用や、写真観光を主軸とするソーシャルメディアを活用した新たな観光スタイルの提案がありました。

- 日 時 2022年3月11日（金）15:00～16:00
- 会 場 北海道大学よりオンライン配信
- 発 表 「道東エリアを活気づける、先端技術を利用した次世代観光プランの提案」
～バイオマス発電、自動運転電気自動車でめぐる「映え」ポイント～
- 主 催 物質科学フロンティアを開拓するAmbitious リーダー育成プログラム
- 共 催 No Maps 釧路・根室2021 実行委員会



HOKKAIDO UNIVERSITY
AMBITIOUS LEADER'S PROGRAM
Fostering Future Leaders to Open New Frontiers in Materials Science

北海道大学
物質科学フロンティアを開拓する
Ambitious リーダー育成プログラム

企業コンソーシアム発表会

道東エリアを活気づける、
先端技術を利用した次世代観光プランの提案
～バイオマス発電、自動運転電気自動車でめぐる「映え」ポイント～

令和4年3月11日（金）
15:00～16:00（開場 14:45）

オンライン開催・参加無料

北海道大学の異分野融合型大学院教育「リーディングプログラム」に所属する博士課程大学院生を中心とするグループが、互いの専門分野の知力をチームとして融合し、社会や産業界に潜む課題に対して新たな価値を創造する提案を行います。

主催 物質科学フロンティアを開拓する Ambitious リーダー育成プログラム
共催 NoMaps 釧路・根室2021 実行委員会 **NoMaps2021**

地域の魅力ある観光資源の発信

知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイの立ち上げにかかわり、フットパスを中心とした地域の観光資源を磨き、「美しい景観づくり」、「活力ある地域づくり」、「魅力ある空間づくり」に携わる活動を支援しています。

シーニックバイウェイ(Scenic Byway)とは…

景観・シーン(Scene)の形容詞シーニック(Scenic)と、わき道・より道を意味するバイウェイ(Byway)を組み合わせた造語。地域に暮らす人が主体となり、企業や行政と手をつなぎ、美しい景観づくり、個性的で活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを目指す取り組みです。2022年4月4日現在で13の指定ルート、3つの候補ルートがあり、約460団体が活動しています。知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイについては令和4年7月の協議会にて正式な指定ルートに認定されることを目標とし活動を継続中。

知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイの活動



運営代表者会議



観光ルートマップの作製



フットパスツアーの開催

外部機関との連携状況①

地域の企業やお客さまが抱える課題の解決や、地域資源の情報発信・発掘、事業承継、人材育成の支援充実を図るために様々な機関との連携をしています。

連 携 機 関 名	提 携 内 容
北海道大学産学・地域協働推進機構との連携協定 《平成23年10月 締結》	産学連携推進機能を相互互換し、研究ニーズと市場ニーズのマッチング、知的財産の活用、人材育成などの分野で具体的な連携を図っています。
北海道根室振興局・釧路総合振興局との包括連携協定 《平成24年3月 締結》	根室・釧路地域の活性化に向けて、産業・雇用の創出と人材の育成を基本コンセプトとし、地域資源の価値向上ならびに根室・釧路地域の更なる発展にむけ取り組んでいます。
札幌医科大学との包括連携協定 《平成25年6月 締結》	産学の連携を通じて相互の発展に寄与するとともに、北海道の保健・医療・福祉の向上など、地域社会の発展に資することを目的として包括連携協定を締結しております。
中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業「地域プラットフォーム」への参画 (平成25年9月 締結)	多様化する中小企業の経営支援ニーズに対し、専門家派遣制度の活用、各参画機関との情報交換を通じ、新事業展開、創業、経営革新等の高度・専門的な経営課題に対応する体制を整備しております。

外部機関との連携状況②

連 携 機 関 名	提 携 内 容
一般社団法人中小企業診断協会北海道との業務提携 《平成27年7月 締結》	各種セミナーの開催や人材育成に関する講師の派遣、経営相談会の開催、中小企業診断士の派遣、経営改善支援を通して、中小企業の抱える様々な課題解決を図っています。
(株)アクトナウならびに(株)北海道新事業創造プラザとのクラウドファンディングを活用した地方創生に関する連携協定 《平成28年1月 締結》	クラウドファンディング活用による地域資源の掘り起こしや販路拡大・商品開発などのマーケティングや多様な経営サポートを通じた地場企業の支援を図ります。
一般社団法人 北海道事業承継センターとの連携協定 《平成28年3月 締結》	地域中小企業の事業承継に関するコンサルティング機能、マッチング機能を高めることでM&Aの促進や事業承継支援に取り組んでいます。
一般社団法人 北海道事業承継センターとの協定締結によるしんきん支援ネットワークへの参画 (平成28年4月 締結)	事業拡大や新分野進出のためのM&A、円滑な事業引継ぎ等のニーズには弊金庫単独の情報では対応が難しく、北海道全域に広げるために道内8信用金庫によって広域連携ネットワークを形成し支援体制を構築しました。

外部機関との連携状況③

連 携 機 関 名	提 携 内 容
(株)日本政策金融公庫との業務連携・協力に関する覚書 (平成31年3月 締結)	根釧、札幌地域における中小企業者等への資金供給、情報提供等相互に協力し、支援する体制をとりました。農業者を対象とした協調商品を創設し、円滑な資金提供を通じてサポートを推進していきます。
株式会社調和技研との包括連携協定 《令和3年12月 締結》	AI・IT技術と金融サービスを合わせて活用し、地域産業の競争力強化やデジタル人材の育成に向けて、相互に協力し協働事業を推進することを目的として包括連携協定を締結しております。
環境省北海道地方環境事務所への在籍出向《派遣期間令和4年4月～令和6年3月》	2050年のカーボンニュートラル実現に向け、脱炭素につながるお客様支援内容の質的充実と、環境省との人脈形成を通じた情報収集レベルの向上を狙いとして、今年度より新設の「地域脱炭素創生室」へ職員を1名派遣しております。



<http://www.daichimirai.co.jp>